

四
(四)

滿洲國經濟建設要綱

(ハ、三、一)

1415

SP. 301

371

364

REEL No. A-0286

0286

アジア歴史資料センター



(大同ニ一政府公報號外)

滿洲國經濟建設ニ關スル聲明書左ノ如シ

大同二年三月一日

滿洲國政府

滿洲國經濟建設要綱

第一序説

我カ滿洲國ハ舊東北軍閥秕政ノ跡ヲ受ケ昨年三月高遠ナル理想ノ下ニ建國シ爾來滿一年内外眞ニ多事多難ナリシト雖モ内ハ極力往日ノ暗黒政治ヲ廓清シ諸般ノ法律制度ヲ改善シ政治機構ノ基礎ヲ固メ幣制竝ニ財政ノ確立ヲ計ルト共ニ一方匪禍ノ肅清治安ノ維持ニ努メ外ハ獨立國家トシテ善隣トノ友好關係ヲ深厚ニシ國際的地位ノ向上ニ

外務省

10.7

SP. 301

372

365

努力シ來レリ

抑々建國ノ本義ハ一ニ順天安民ニシテ之カ具體化ハ三千萬民衆ノ樂土實現ニアリ

今ヤ建國一周年紀念日ニ際シ茲ニ經濟建設ノ方針ヲ確立シ健實ナル歩調ヲ以テ此ノ理想實現ノ歴史的大事業ニ第一歩ヲ踏出サント素ヨリ爲政ノ事タル多言ヲ取ラス只實行ニアリト雖モ經濟建設ノ大業ハ確固タル方針周到ナル計畫共同一致ノ努力ヲ以テスルモ猶ホ重難ノ事ニ屬スサレハ茲ニ敢テ其根本方針竝建設計畫ノ綱要ヲ示シ官民協力實行邁進ノ規準ト爲ス

而シテ本綱要ハ永年ニ亙ル大計ナルヲ以テ近キ將來ニ關シテハ別ニ計劃ヲ策定シ之ヲ公表スルトコロアルヘシ

外務省

10.7

SP. 301

373

366

第二 經濟建設ノ根本方針

我國經濟ノ建設ニ當リテハ無統制ナル資本主義經濟ノ弊害ニ鑑ミ之ニ所要ノ國家的統制ヲ加ヘ資本ノ効果ヲ活用シ以テ國民經濟全體ノ健全且ツ滋潤タル發展ヲ圖ラントス斯クシテ國民大衆ノ經濟生活ヲ豐富安固ナラシメ其ノ國民的生活ヲ向上シ我國力ヲ充實シ併セテ世界經濟ノ發展ニ貢獻シ文化ノ向上ヲ計リ以テ建國ノ大理想タル模範國家ヲ實現スルハ經濟建設究極ノ目標ナリ

右大目標ニ到達スル爲メ次ノ四大根本方針ノ下ニ經濟建設ニ邁進スルヲ要ス曰ク國民全體ノ利益ヲ基調トシ利源開拓實業振興ノ利益カ一部階級ニ壟斷サルルノ弊ヲ除キ萬民共榮ナラシムルヲ以テ方針第一トス曰ク國內賦存ノ凡有資源ヲ有效ニ開發シ經濟各部門ノ綜合的

外務省

10.7

SP. 301

374

367

發達ヲ計ル爲メ重要經濟部門ニハ國家的統制ヲ加ヘ合理化方策ヲ講スルヲ以テ方針第二トス曰ク利源ノ開拓實業ノ獎勵ニ當リテハ門戶開放機會均等ノ精神ニ則リ廣ク世界ニ資本ヲ求メ特ニ先進諸國技術經驗其ノ他凡有文明ノ粹ヲ蒐メテ之ヲ適切有效ニ利用スルヲ以テ方針第三トス曰ク東亞經濟ノ融合合理化ヲ目途トシ先ツ善隣日本トノ相互依存ノ經濟關係ニ鑑ミ同國トノ協調ニ重心ヲ置キ相互扶助ノ關係ヲ益々緊密ナラシム之ヲ以テ方針第四トス敍上ノ四方針ハ經濟建設ノ根本方針タルヲ以テ凡有場合ニ徹底遵奉シ其ノ完成ヲ期スルモノトス

第三 經濟統制ノ方策

前述根本方針ノ主旨ニ基キ政府ハ現下ノ情勢上實現可能ニシテ最善

外務省

10.7

SP. 301

375

368

ナル手段トシテ下記ノ範圍ニ於テ國民經濟ノ統制ヲ行フ

一 國防的若クハ公共公益的性質ヲ有スル重要事業ハ公營又ハ特殊會社ヲシテ經營セシムルヲ原則トス

二 右以外ノ產業及資源等各般ノ經濟事項ハ民間ノ自由經營ニ委ス只特ニ國民福利ヲ重シ其ノ生計ヲ維持スル爲ニ生産消費ノ兩方面ニ互リ必要ナル調節ヲ行フ

第四 交通ノ充實

我國經濟ノ根幹タル農業其ノ他一般資源ノ開發振興治安ノ維持商業ノ隆盛對外經濟連繫上交通ノ整備ハ經濟建設ノ基礎工作トシテ最モ緊密ナルヲ以テソノ有機的擴充ヲ企圖ス

一 鐵道

外務省

10.7

SP. 301

376

369

(イ)鐵道建設ハ經濟開發ヲ主眼トシ併セテ國防ノ安固及治安ノ維持ヲ期スルヲ以テ方針トス

(ロ)將來鐵道ノ總延長ハ二萬五千杆ヲ目途トシ今後十ヶ年間ニ先ツ四千杆ノ新線ヲ敷設シ既設ノモノト合シ總延長一萬杆ニ達セシム

(ハ)主要鐵道ハ國有トシ統一經營ス

二 港灣

(イ)我國經濟開發ヲ促進シ生産地方ト海港トヲ最モ經濟的ニ連絡スル爲我國港灣ノ外隣國ノ港灣ヲ有效ニ利用ス

(ロ)營口安東ノ兩港ニ所要ノ改修ヲ加フ

(ハ)葫蘆島ノ築港工事ハ將來經濟上ノ要求切實ヲ加フルノ時ニ完成ス

外務省

10.7

SP. 301

377

370

五
通
信

(イ) 國內ニ於テハ通信ノ統一聯絡ヲ主眼トシ併セテ海外聯絡通信ノ充實ヲ期ス

(ロ) 有線無線ノ電氣通信ヲ統一經營シ經濟幹線及之ニ附隨スル支線ノ改良擴張ト主要都市電話施設ノ改善擴張放送施設ノ擴充ヲ行フ

六
空
運

日進月歩ノ趨勢ニ鑑ミ空運ノ發達ヲ助長シ優秀ナル機材ト技術トヲ有スル滿洲航空會社ニ之ヲ經營セシメ差シ當リ今後三ヶ年間ニ航空路約三、五〇〇杆ヲ開拓シ更ニ將來歐亞及東洋各地間航空路ノ開拓ニ努ム

外
務
省

10.7

SP. 301

379

372

三
河
川

(イ) 海運ハ差當リ近海航路ノ充實ヲ圖リ外洋航路ニ付テモナルヘク速ニ其ノ發展ヲ期ス

河川ノ重要性ニ鑑ミ黑龍江松花江鴨綠江及遼河ニ於ケル河運ノ便ヲ増進ス

四
道
路

(イ) 國民ノ一般交通ノ便ヲ加ヘ治安ヲ維持スル爲主要都市相互間及主要都市ト縣城間ヲ聯絡スル爲ノ路線其ノ他未開地方ノ開發及國防等ノ必要ニ屬スル路線等總計約六萬杆ヲ十ヶ年間ニ之ヲ新設又ハ改修ス

(ロ) 今後此等路線上ニハ全國ニ互リ自動車交通ヲ發達セシム

外
務
省

10.7

SP. 301

378

371

七 都市計畫

(1) 國都新京ハ廣表二百平方千収容人口五十萬ヲ目標トシ模範的都市ヲ建設ス

(2) 奉天哈爾濱吉林齊齊哈爾等ノ都市ニ對シテハ適當ノ時期ニ近代の都市計畫ノ實現ヲ期ス

第五 農業ノ開發

(一) 農產業

(1) 我國民經濟ハ農ヲ以テ其ノ根幹トス而シテ農產増殖ノ目標ハ外國ニ依存スル農產物ノ自給ヲ圖ルト共ニ一般農產物ノ輸出ニ努メ以テ農民大衆福利ヲ増進シ其ノ生活ヲ向上セシメントス

(2) 農產ノ改良増殖

外務省

10.7

SP. 301

380

373

(二) 畜產業

(1) 我國農業經營ノ基幹ヲ爲ス大豆高粱粟玉蜀黍ニ付テハ之カ栽培ニ指導獎勵ヲ加ヘ品種ノ改良ト其ノ増殖ヲ圖ル

(2) 棉ハ栽培面積三十萬町歩繰棉年産額一億五千萬斤ニ達セシム

(3) 小麥ハ栽培面積二百三十萬町歩年産額二千萬石ニ達セシム

(4) 煙草麻類落花生胡麻蓖麻忽布甜菜果樹蔬菜等ノ栽培並作物ノ飼育ヲ獎勵シテ農業經營ノ改善並農家經濟ノ福利ヲ圖ル

(1) 我國ノ畜產ハ其ノ豐富ナルニ拘ラス資質劣等ナルモノ多ク資源トシテノ價值低キ憾アリ仍テ其ノ資源ノ開發ハ家畜頭數ノ増加ト共ニ品種ノ改良ヲ行フヲ以テ主眼トス

(2) 家畜ノ改良増殖

外務省

10.7

SP. 301

381

374

(三) 林 業

(1) 林業ハ森林ノ濫伐ヲ抑制シ之カ保護増殖ニ努メ合理的經營ニ依ツテ林力ノ保續ヲ圖ルヲ主眼トス

(2) 新タナル林場權ノ發放ハ暫ク之ヲ中止シ今後五ヶ年ヲ期シテ林場權ノ整理ヲ行フト共ニ主要林業ノ基礎調査ヲ行ヒ國有林ヲ規整シ之カ合理的經營ノ基礎ヲ確立セントス國有林ノ經營ハ國營ヲ原則トシ必要ニ應ジ其ノ他ノ形ニ依ツテ之ヲ行ヒ公有林私有林ハ政府監督ノ下ニ夫々合理的經營ヲ爲サシメ又一面造林ヲ奨勵シ林業發達ヲ圖ルモノトス

(四) 水産業

(1) 漁業

外務省

10.7

SP. 301

383

376

(1) 馬ハ「アラブ」「アングロアラブ」等ニ依リ在來種ノ改良ヲ行ヒ少クトモ改良馬二百萬頭ヲ保持セムトス
(2) 綿羊ハ主トシテ「メリノ」ニ依リ在來種ノ改良ヲ行ヒ少クトモ四百萬頭ノ在來種ヲ改良種ニヨリテ置換ス
(3) 牛ハ在來種ノ選擇淘汰ヲ行ヒ優良型ノ増殖ニ努メ少クトモ二百七十萬頭ノ整備ヲ圖ル
(4) 豚ハ國內ニ於ケル肉類需給ヲ目標トシ主トシテ「パークシャ」ニ依リ其ノ改良増殖ヲ行フモノトス
(5) 家畜衛生制度ヲ確立シ畜産業ノ安定ヲ圖リ畜産資源ノ涵養ニ資ス
(6) 牧野ノ改良ヲ行ヒ以テ家畜頭數ノ増加ヲ促進ス

外務省

10.7

SP. 301

382

375

- (一) 方針
- 第六 鑛工業ノ振興
- (七) 土地
- (1) 速カニ土地ノ調査ニ着手シ土地制度ヲ確立シ土地兼併ノ弊ヲ防止ス
- (2) 未耕地ハ農地開拓ノ特殊機關ヲ設置シ農業移民ヲシテ十五ヶ年ニ於テ概ネ五百萬町歩ノ開發ヲ行ハシム
- (3) 大同元年度ヨリ概ネ五ヶ年間ニ氣象施設ヲ完備ス
- (4) 治水灌漑事業等ニ付基礎的調査ヲ行フ
- (5) 農業ノ指導獎勵ヲ行フ爲漸次各種試驗機關家畜改良機關獸疫研究機關試作地苗圃模範造林地等ノ機關ヲ設置ス

- 孵化養殖ニ依リ資源ノ涵養ニ努メ濫獲ヲ戒メテ其ノ恒久的利用ヲ圖ラムトス
- (2) 製鹽業
- 鹽田ノ整備擴張ヲ行ヒ鹽業ノ發達ヲ期ス
- (五) 農業經營
- 在來ノ牧畜農業經營ヲ基礎トシ各種新作物ヲ栽培セシムルト共ニ副業經營並機械農法ヲ加味シテ其ノ改善ヲ圖ル
- (六) 農業施設
- (1) 農村ノ振興ヲ圖リ農家ノ經濟力ヲ充實セシムルヲ目途トシ盛シニ農村組合制度ヲ興シ以テ生産消費ノ改善ヲ圖リ融資ヲ圓滑ナラシメテ斯業ノ發達ヲ促スノ外農村諸制度ノ改善確立ヲ圖ル

金屬工業
機械工業
油脂工業
「バルブ」工業
曹達工業
酒精工業
炸薬工業
紡績工業
製粉工業
「セメント」工業
醸造工業

外務省

10.7

SP. 301

387

380

（二）鑛業
鑛産資源ヲ開發シ基礎工業及國防工業ノ確立ヲ圖リ國民經濟ヲ豐富ナラシメ國富ヲ増大セシムルヲ以テ方針トス
（イ）石炭ハ諸炭礦ヲ統一シ合理的生産ト供給トヲ行ヒ以テ低廉豊富ナル燃料ヲ提供スルト共ニ輸出ノ増進ヲ圖ル
（ロ）國防鑛産資源ハ原則トシテ特殊會社ヲシテ其ノ鑛業權ヲ確保セシメ以テ無統制濫掘ヲ戒ムルト共ニ其ノ開發ニ便ス
（ハ）砂金及金鑛ハ國有ノモノト然ラサルモノトニ區分シ國有以外ノモノハ之ヲ一般ニ開放ス
（三）工業
（イ）左記工業ハ國內需要ニ伴ヒ所要ノ統制下ニ逐次發達セシム

外務省

10.7

SP. 301

386

379

(イ) 前記以外ノモノハ差當リ自然ノ發達ニ委スルモ將來必要ニ應シ
所要ノ統制ヲ加フルコトアルヘシ
(ロ) 電氣事業ハ統一經營ヲ行ヒ豐富低廉ナル電力ヲ供給ス
(ニ) 施設

(イ) 工業ノ健全ナル發達ヲ促進シ施設集中ノ利益ヲ圖ルタメ左ノ地
方ニ工業地域ヲ設定ス

奉天

安東

哈爾濱

吉林附近

(ロ) 工業品ノ規格ヲ統一ス

外務省

10.7

SP. 301

388

381

第七 金融ノ整備

舊軍閥ノ秕政中其ノ害毒ノ大ナリシハ紙幣ノ濫發片紙ノ流行ナリシ
ニ鑑ミ政府ハ建國當初ノ既定方針ニ基キ國幣ノ流通ト其ノ價值ノ維
持ニ努メ以テ金融ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルト共ニ一般的ニ信用制度
ヲ改善シ流通經濟ノ暢達ヲ圖ル

(1) 滿洲中央銀行ハ速カニ附業ヲ整理シ通貨ノ調節安定ヲ計リ専ラ金
融ノ統制ニ任ス

(2) 産業組合金融組合等各種庶民金融機關竝一般金融機關ノ整備ヲ計
リ之ニ對シ適當ナル助成並ニ取締ノ方法ヲ講ス

(3) 農工業ノ發達ニ資スル爲メ特殊金融機關ヲ設立シ割増金付債券ノ
發行ヲ特許スル等ノ方法ニヨリ長期低利資金ノ供給ヲ行ハントス

10.7

SP. 301

389

382

外務省

(4) 彩票ノ發行ハ政府自ラ之ヲ行フノ外之ヲ許可セス
割増金附債券ノ發行ハ前號ニ掲ケタルモノノ外之ヲ許可セス
(5) 一般國民ニ對シ貯蓄心ヲ涵養セシムル爲メ郵便貯金制度ヲ改善シ
其ノ發達ヲ計ル

第八 商業ノ助長

(一) 一般商業ニ對シテハ努メテ之ヲ助長獎勵シ取引ノ圓滑ヲ期シ國內
商業ノ販路ヲ廣ク世界ニ求メ以テ商賣ノ繁榮ヲ計ラントス
之カ爲メ我國民ノ特徵ハ益々之ヲ助長セシメ舊慣ノ改ム可キハ之
ヲ矯正シ以テ取引ノ合理化ヲ期ス
又生活ノ必要品其ノ他國民生活ニ重要ナル關係ヲ有スル商品ニツ
キテハ適切ナル供給ト價格ノ調節トヲナス

外
務
省

10.7

SP. 301

390

383

(二) 新ニ特許法商標法等ヲ發布シ工業所有權ノ保護ヲ計リ寄託保險等
ニ關スル法制ヲ定メ度量衡ノ制度ヲ統一シ其ノ他取引所ノ制度ヲ
改善スル等商取引ニ關スル文明的施設ヲナサムトス

(三) 關稅政策ハ貿易ノ振興ヲ旨トシ國際取引ノ増進ヲ期ス

第九 私經濟ノ改善

政府ハ單ニ民ニ禍スル舊東北軍閥ノ秕政ヲ排スルニ止ラス積極的ニ
各種ノ政策及施設ヲ實行シ濟世救民以テ惠澤ヲ一般民衆ニ及ホシ其
ノ私經濟ヲ改善シ民力培養ニ努ムサレト徒ラニ遊民徒食ノ輩ノ存在
ヲ許サス自治隣保扶助ノ美風ヲ作興普及ス之カ爲メ左ノ如キ方策ヲ
講ス

一 凡有方法ヲ講シ國民大衆ノ生命及財産ノ安固ヲ期ス

外
務
省

10.7

SP. 301

391

384

二 官民協力シ適當ノ施設ヲ行ヒ恆ニ飢饉其ノ他天災ニ備ヘ野ニ

餓死ナカラシムルヲ期ス

三 税制ヲ整理シ負擔ノ均衡及輕減ヲ圖リ民力ノ伸張ヲ期ス

四 國民大衆ニ對シ生活必需品ノ低廉ナル供給ヲ圖ル

五 各種產業組合及金融組合ノ健全ナル發達ヲ圖リ相互扶助ノ實

ヲ舉クルニ努ム

六 一般失業者ニ對シテ生業ヲ與フルノ道ヲ講ス

第十 結論

以上開示セル經濟各部門ニ關スル建設方針ノ要綱ハ尙其ノ規模小ナリト雖モ漸次我國財政經濟ノ實力ニ應シ其ノ計劃ヲ擴大セントスルモノニシテ然モ本計劃ヲ以テ進ムニ現在我國總生産額三十億圓ハ十

10.7

SP. 301

392

385

外務省

年ヲ出テスシテ増加スルヲ疑ハス況ンヤ尙將來ニ於ケル國力ノ増大

ハ期シテ待ツヘキモノアラン然リト雖モ前記初期方針ノ實行ニ於テ

モ巨額ノ資本ト優季ナル技術及國民一致ノ協力ヲ必要トス其ノ經濟

建設資金ハ廣ク之ヲ世界ニ求ムルト共ニ國內ニ於テハ主トシテ中小

資本ノ吸收ニ努メ國民全般ノ福利増進ヲ主眼トシ技術的指導亦之ヲ

中外ニ求ムヘシ

要ハ國家ト國民永遠ノ繁榮ヲ基調トシ世界ニ比類ナキ新經濟組織ヲ

完成シ我王道建國ノ大使命ヲ全フセントスルニ在リ茲ニ三千萬民衆

ニ本建設綱要ヲ示シテ切ニ其ノ確固タル決心ト協力ヲ冀望スル所以

ナリ

10.7

SP. 301

393

386

外務省